

令和3年度 練馬区地域おこしプロジェクト選定事業の評価について

団体名	「ねりま」で育って良かったプロジェクトチーム
事業名	「ねりま」で育って良かったプロジェクト ～未来につなぐ「ねりま」のひと・もの・こと～

1 令和4年度の事業継続

[可 ・ 不可] とする

2 令和3年度の実績

[活動の基盤づくり]

- 青年リーダーとの連携強化
- 単年度プロジェクト「知ってる? 『ねりま』 発見ツアー」のプログラム検討
- 発信プロジェクト SNS (YouTube・Instagram・YouTube) の開設

[活動実績]

- 青年リーダーとのミーティング 13回
- 発信プロジェクト
 - ・YouTube (9月開設) 投稿件数 8件 総視聴回数 1,013回
 - ・Instagram (6月開設) 投稿件数 34件 フォロワー数 186人
 - ・Facebook (6月開設) 投稿件数 30件 フォロワー数 76人

3 令和3年度の評価

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた中、プロジェクトの核となる青年リーダーとさらに連携を深め、活動に精力的に関わってもらえる関係を確認できたことは、大きな糧になったのではないのでしょうか。

発信プロジェクトについては、地域の人々を巻き込みながら進めていることを評価します。より多くの方の目に触れて参加に繋がるよう、ターゲット層や目標フォロワー数を明確にして、それに向けた投稿をしたり、企画立案や撮影にも子どもたちが主体的に関われる仕掛けをつくるなど、改めて目的を整理し、工夫を凝らしてみてください。

単年度プロジェクトは、ようやくツアーを開催できることになりましたが、コロナ禍で進めるには、保護者の理解を得ることが重要です。その上で、ツアーに参加した子どもたちが、ジュニアリーダーから青年リーダーへとステップアップしていくスキームの体現に向けたプログラムの展開に期待します。

今後もこの活動を継続していくためには、さまざまな地域団体や事業者との協力関係が重要になってきます。「ねりま」で育って良かったプロジェクトの特色を明確にし、協力団体へのメリットを打ち出せると、活動の幅が広がり、プロジェクトの理念が区内に浸透していくのではないのでしょうか。また、資金面についても、地域おこしプロジェクト卒業後を見据えた検討が必要です。

令和4年度は、区との協働期間の最終年度となります。3年間の協働期間で地域にまいた種が、4年目以降も着実に育っていくよう、卒業に向けて体制づくりを進めてください。